たけうまファンド

2022年10月31日基準

運用実績

1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	年初来	設定来
4.9%	7.6%	10.2%	-4.9%	4.2%	1463.2%

※ 証券口座現在の資産残高基準。投資信託、iDeCo、仮想通貨、FX（外貨証拠金取引）は含まず。
※ 過去の実績データがない期間においては数字を未記載としています。

ポートフォリオ構成

実質株式保有比率		93.1%
	国内株式	70.9%
	海外株式	22.2%
現金（円・ドル）		6.9%

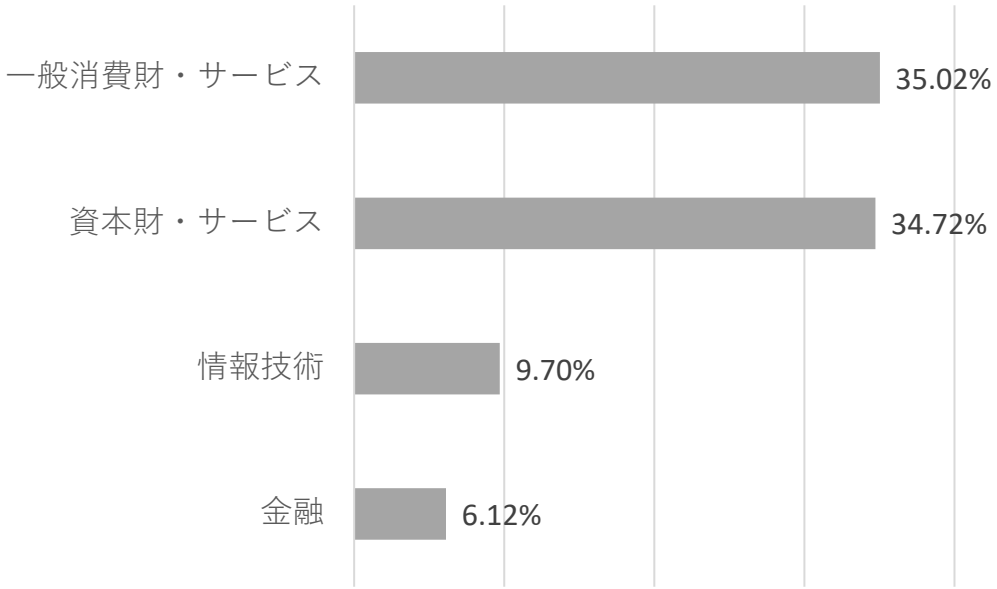
※比率は証券口座の現在の資産残価に対する割合
※信用口座での保有株式については含み損益のみ計上

分配実績

設定来累計分配金　0円

※上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
※成長ないので分配なし。

業種別組み入れ比率



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）によるものです。
※ 優待株は含まず。

たけうまファンド

2022年10月31日基準

たけうまファンドの組み入れ銘柄の状況

組入上位10銘柄

	銘柄名	比率 業種	銘柄紹介
1	ウルトラファブリックスHD（4235）	20.38% 一般消費財	湿式合皮製造販売。従来からのSDGs加速にコロナ後の感染対策、テレワーク需要で成長一段階上へ。
2	ServiceNow, Inc.（NOW）	9.70% 情報技術	ITSM主力のSaaS。業務の自動化、DXは生産性向上に資するため人手不足・高インフレ下でも需要大。
3	シルバーライフ（9262）	8.25% 一般消費財	高齢者向け宅配弁当大手。中計遂行に必要な設備投資を終えて攻めのターン。日本株での成長株枠。
4	シンメンテHD（6086）	7.84% 資本財	飲食店厨房メンテからコロナ禍経て他業種へも拡大。人手不足と感染対策とコスト削減を解決する。
5	日揮（1963）	7.33% 資本財	総合エンジニアリング。世界経済ブロック化に向かう中でエネ安全保障での重複投資の一翼を担う。
6	オカダアイヨン（6294）	6.46% 資本財	解体用アタッチメント。建替え、電炉、バイオマスなどで市場拡大。今期が設備投資のピーク。
7	Tapestry, Inc.（TPR）	6.39% 一般消費財	コーチやケイトスペード擁する婦人アパレル製造販売。経営危機から復活再生中。コロナ明けに期待。
8	MSCI Inc.（MSCI）	6.12% 金融	指数を開発販売。株価指数の提供だけにとどまらず、ESGやファクター含めマルチアセット市場狙う。
9	ドラフト（5070）	5.53% 資本財	オフィスやSC、都市開発のデザイン。社長や優秀な人材が競争力。新しい生活様式での需要拡大期待。
10	オプテックスグループ（6914）	4.19% 資本財	センサー大手。センサー活用の防犯・工場の自動化で人手不足、アフコロ受けた成長に期待。

※ 上記は組入銘柄の紹介を目的としてたけうまが作成しており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

たけうまファンド

2022年10月31日基準

ファンドおよびマーケットへのコメント

今月は相場復調のリズムに乗ることができたおかげで一桁台中盤のプラスで終えることができ、ひとまずホッとしているところです。

10月ということもあり日米ともに7-9月期の決算発表がありました。サービスナウとMSCIはともに堅調な内容で一安心。サービスナウはcRPOの回復、MSCIは指数販売自体の堅調さが確認できました。少しの決算ミスでも大きく売られるケースが相次いでおり相場の雰囲気が悪化する中でも企業決算への期待値の高さを伺わせます。日本株ではドラフトの3Q決算と通期下方修正がありました。新しいオフィス兼ショールームの開設での費用投下は折り込み済みかと思われましたが、前四半期では堅調としていた案件獲得率の低下もあったため株価は下落。当ファンドも一部を損切りしました。今後の対応は来期次第ではありますが、IRの姿勢もどうにかしていただきたいものです。

ドラフトを減らした資金でオプテックスを現引きしました。オプテックスを買うのはかなり久しぶりです。ブロック化と重複投資、サプライチェーン再構築、人手不足の文脈の中で何を買うか悩んでいましたが結果としてセンサー専業となりました。今回の決算を見ていても工作機械は伸びているものの中国の動向や完成車メーカーの動向に左右されるところが大きく、検討した結果外して正解だったようです。配当いいのでかなり悩みましたが。

その他の取引としては先物口座を開設してやってみましたが要領をつかむことができず撤退、FX口座からも出金しました。いきなり手広くポジションを持ちすぎて自分の対応能力を超えてしまったようです。現引きで信用ポジションもなくなり取引は大幅縮小です。少しばかり今年の相場に疲れてしまいました。

ある程度の現金は残してある状態を維持した状態で取引意欲が低下しているのでこのまま放置、といいますかしばらくは放っておくことになりそうです。ガチャガチャやっても一向に勝てません。自分のルール、やり方の中で最大限のパフォーマンスを目指していくようにします。

相場的にはインフレも利上げももう8合目まで来ているような状況なんでしょうか。今の状況では不況というより景気鈍化止まりで企業業績の伸び縮小が信用不安にまで発展するような様子はなさそうですが、金利がこのまま高止まりし続ければ来年以降の資金調達環境には影響が出てくるんでしょうか。わかりません。わかったら苦労しないですね。目先の動向に振り回されることなくもう少し大きい視点を維持してのんびりとやっていきたいですね。

そろそろ年末が意識される時期です。ここらへんからは売り込まれるようなこともなくいい気分で年末が迎えられる相場を期待したいものです。

※ 今後の見通しと運用方針は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります